

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成28年11月24日(2016.11.24)

【公開番号】特開2015-175502(P2015-175502A)

【公開日】平成27年10月5日(2015.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-062

【出願番号】特願2014-54756(P2014-54756)

【国際特許分類】

F 1 6 K 27/00 (2006.01)

F 1 6 L 41/02 (2006.01)

【F I】

F 1 6 K 27/00 B

F 1 6 L 41/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月11日(2016.10.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上面とこれに対向する底面と前記上面から底面に向けて延びる側面とを画定するとともに前記上面において開口する流路口を有する流体流路を画定し、被係合部を有する第 1 および第 2 の継手部材と、

前記第 1 および第 2 の継手部材の被係合部に係合可能な長手方向に延在する係合部を有する支持機構と、

底面に開口する第 1 および第 2 の流路口を有する流体流路を画定するボディを含む流体制御機器と、を有し、

前記第 1 および第 2 の継手部材は、前記被係合部がそれぞれ前記支持機構の係合部に係合することにより前記長手方向に移動可能に前記支持機構に拘束され、

前記流体制御機器は、前記ボディの第 1 および第 2 の流路口が第 1 および第 2 の継手部材の上面の流路口にそれぞれ突き合わされた状態で前記ボディが前記第 1 および第 2 の継手部材の上面に設置され、前記ボディと前記第 1 および第 2 の継手部材とは締結部材によりそれぞれ連結されている、ことを特徴とする流体制御装置。

【請求項 2】

互いに連結された前記流体制御機器および前記第 1 および第 2 の継手部材の前記長手方向への移動を規制するストッパをさらに有する、請求項 1 に記載の流体制御装置。

【請求項 3】

前記ボディの底面と前記第 1 および第 2 の継手部材の上面との間には、突き合わされた前記ボディの第 1 および第 2 の流路口と第 1 および第 2 の継手部材の上面の流路口との周囲にシール部材が配置され、

前記シール部材は前記締結部材の締め付け力により圧せられる、請求項 1 又は 2 に記載の流体制御装置。

【請求項 4】

前記支持機構は、前記係合部の長手方向の少なくとも一端部から、前記第 1 および第 2 の継手部材の各々の被係合部を受け入れ可能に形成されている、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の流体制御装置。

【請求項 5】

前記継手部材の被係合部が溝部であり、前記支持機構の係合部が凸部であり、

前記支持機構は、互いに対向して長手方向に延在する一对の側壁と、

前記一对の側壁の一方の側壁の上端部から他方の側壁に向かって延在し、所定の間隔をおいて対向する一对の上壁と、

一对の側壁および一对の上壁の出口側端部同士を結合する端壁と、を有する、請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の流体制御装置。

【請求項 6】

前記継手部材の被係合部である溝部は、平面視において、前記ネジ穴と重複するように形成されている、請求項 5 に記載の流体制御装置。